



# 学校だより

令和4年度 10月号

学校法人松蔭学園  
松蔭大学附属  
松蔭高等学校  
校長 川下 進

HP : <http://www.shoin.ed.jp/>

Blog : <http://www.shoin.ed.jp/category/information/>

## 生徒会より

生徒会役員選挙において、新しい生徒会会長・副会長が選出されました。また、九月の生代会において、会計・書記・広報の役員も決定しました。

## 林間学校・勉強合宿

新型コロナの影響で2年間実施できていなかった林間学校と勉強合宿が、8月に軽井沢の松蔭山荘にて実施されました。高校1年生は新しい環境を友人と楽しみ、将来の自分について考える林間学校。高校2年生は来年の受験に向けて、友人と共に主要3科目を長時間勉強する合宿となりました。久しぶりの宿泊行事で、どの生徒も心から楽しんでいました。生徒が感想を寄せてくれました。一部を紹介します。

### 【高2より】

- ・『勉強合宿を終えて、忍耐力と仲間意識が身についたと思う。このような集団行動や仲間意識は社会に出る上で重要だと思う。』
- ・『今回の合宿を通して、自分は不健康な食生活を送っていたのだと気がつきました。自分の良くない生活習慣を正し、受験に向けてきちんとした生活を送りたいと思いました。』
- ・『この合宿で友達という存在の大切さを学んだ。もし一人で来ていたら、頑張れなかったと思う。友達と助け合ったことを忘れずにいたい。』

### 【高1より】

- ・『林間学校を通して、今まで少ししか話したことがなかった人ともたくさん会話を重ねて、友達についても自分についても新しい発見ができた。』
- ・『自分から積極的に話すことの大切さや、自分の意見を説明し、理解してもらうことの難しさを学ぶことができた。楽しむだけでなく、精神的にも成長できたと思う。』
- ・『自然にたくさん触れたり、将来のことを考えたり、普段あまり関わっていなかった子と関わることで、とても貴重な体験をすることができてとても楽しかったです。』

## 教育実習

9月12日(月)～10月1日(土)の3週間、高校1・2年生のクラスで国語科1名、理科科1名、保健体育科1名の合計3名の教育実習生が実習を行いました。

## 球技大会

9月30日(金)本校体育館にて、球技大会が行われました。昨年度は新型コロナ対策でできなかったバスケットボールも復活し、学年ごとに、クラスの枠を越えて男女各チームに分かれて戦いました。



女子バスケットボール優勝

高三Bチーム

男子バスケットボール優勝

高三Aチーム

女子バレーボール優勝

高三Bチーム

男子バレーボール優勝

高三Aチーム



## 後期スタート

10月3日(月)より年度の後期が始まりました。この学期は大きな行事がたくさんあり、生徒一人一人が行事の主役です！ぜひ積極的に関わって、学年やクラス、部活の先輩後輩で素晴らしい思い出を作ってください。

また、高校三年生にとっては、一年のうちで一番勉強に打ち込める季節です。最後の追い込みに向けて、しっかりと取り組んでいきましょう。

## 松蔭祭

10月15日(土)・16日(日)に松蔭祭が行われました。15日は舞台企画の日として、全校生徒でスピーチコンテスト、音楽部、演劇部、吹奏楽部、ダンス部、有志の発表を観覧しました。16日は教室企画の日として、各学年・クラス・部活の企画・展示を自由に見学しました。今年度は保護者の方にもご参加いただき、充実した松蔭祭となりました。



## スピーチコンテスト

10月16日(土)の松蔭祭においてスピーチコンテストが行われました。全校生徒・来校くださった保護者が温かく見守る中、各自の主張を英文に訳し、ジェスチャーやスライドを使って一生懸命スピーチしました。

スピーチコンテストを観覧していた生徒が感想を寄せてくれました。一部を紹介します。

### 【高2より】

- ・『言い方や伝え方を工夫するだけで英語を使いこなせるようになるのがカッコよかった。私も社会に出て通用する英語力を身につけたいと思った。』
- ・『自分たちにとって身近なことだったのでスピーチを聞きながら自分も考えることができた。』
- ・『1人1人の個性が光っていた。さまざまな話し方、ジェスチャーや写真が、同じようでも人によって違っていて、聞いていてとても楽しかった。』

### 【高1より】

- ・『みんな緊張しながらも、しっかりと英語を話していて、とても素晴らしいと思った。英語を話せたり、理解できるようになれば、楽しいものなのだ、と学んだ。』
- ・『練習量がとてつもなく多いと感じた。また、最初の方しか聞き取れなかったので、自分の力が足りないとも思った。いつか出場してみたい。』
- ・『自分が普段考えつかない題材や視点を変えたら…という内容のものが多くて、視野が広がった気がする。』